

思いがけない妊娠に悩む女性への支援

「相談支援を通して見えてきた課題を保健・医療・福祉・教育の視点から考える」



- 対象 保健・医療・福祉・教育関係者、行政関係者、学生
日時 2015年 12月13日(日) 13:00~16:00
(受付 12:30より)
定員 120名程度(事前申し込み 先着順)
参加費 無料
会場 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科棟 2階(203講義室)
広島市南区霞1-2-3

*大学構内の駐車場はご利用になれません。近隣の駐車場か、バス、電車、タクシーをご利用ください。

プログラム

オープニング ライアー演奏(宇月 彩氏)

特別講演

「SOS 妊娠相談からの学び～聴き、寄り添い、導くために～」

講師：田尻 由貴子氏(一般社団法人スタディライフ熊本特別顧問 元慈恵病院相談役)

「妊婦に向き合い続けるドイツの実践者たち」

講師：柏木 恭典氏(千葉経済大学短期大学部 こども学科 准教授)

質疑応答・参加者とのディスカッション

申し込み方法：12月1日(火)までに、下記申し込み先にお名前、ご連絡先を記載の上、メール、FAX または郵送にてお申し込みください。(下記URL でご案内をしています。)

入場券等は発行しませんので申し込まれた方は当日直接会場までお越しください。受付は先着順です。お申し込みが定員を上回った場合、参加できない旨ご連絡をさせて頂く場合があります。

【申し込み先・お問い合わせ(担当：金子 内線5362)】

〒734-8553 広島市南区霞1-2-3

広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 助産・母性看護開発学研究室

URL：<http://home.hiroshima-u.ac.jp/maternal/index.html>

TEL：082-257-5555(代表) FAX：082-257-5352

e-mail：maternal@hiroshima-u.ac.jp

思いがけない妊娠に悩む女性への支援

【研修会の内容】

この研修会では、熊本県 慈恵病院で妊娠相談支援を行ってきた田尻由貴子氏から、専門職者としての実体験に基づく、妊娠相談の事例や相談者としての支援のあり方を学びます。柏木恭典氏からは、妊娠相談支援における海外の動向について、特にドイツにおける新しい匿名相談支援の実態や母子救済だけに留まらない意味を学ぶことができます。相談支援を通して見えてきた課題について医療・福祉・教育の視点から、参加者の皆様と共に考えたいと思います。

【講師プロフィール】

柏木 恭典(かしわぎやすのり)氏

1975年、三重県四日市市に生まれる。2004年、東京大学大学院教育学研究科博士課程中途退学。現在、千葉経済大学短期大学部こども学科准教授。専門は、教育学、児童福祉学、母子支援論、ケアリング論等。著書に、『赤ちゃんポストと緊急下の女性——未完の母子救済プロジェクト』（北大路書房、2013年）、『学びの実践学——教師に必要なこと、ラーメン店主の学びにあり』（一荃書房、2015年）がある。

田尻 由貴子(たじりゆきこ)氏

2000年から慈恵病院看護部長。
「こうのとりのゆりかご」に併設されている「SOS妊娠相談窓口」の相談役を担当し、1万人の相談に応じてきた。現在は全国の小・中・高校大学をはじめ、各学会などで性教育や命、子育て、人権などの講演活動を行っている。昨秋、実話がドラマ化された「こうのとりのゆりかご」の看護部長のモデル。

【ライアー奏者】宇月彩(うづきあや)氏

山口県出身、広島市在住。ライアー響会会員。2001年にライアーと出会い、その魅力に導かれ演奏活動を始める。現在、保育園、病院、福祉施設等さまざまな場所で西日本を中心に演奏活動中。



【広島大学大学院構内図】



医歯薬保健学研究科
2階 203 講義室

本研修会は科学研究費基金(挑戦萌芽研究 課題番号:15K15876)の助成を受けて実施します。(代表者 上野 陽子)